日本キリスト教団 東金教会〔２３〕

２０２０年６月７日聖霊降臨節第２主日礼拝

年度目標　《教会の民として生きる》

聖　句　良いし知らせをエルサレムに伝える者よ。声をあげよ、恐れるな　イザヤ書４０章９節

【礼拝式次第】

司式	森川	
奏楽	中里	
受付	坂本	
案内	梅田	
名札係	岡村	
礼拝感謝祈祷	安延	
〃　〃	王	
前奏	中里	
讃美歌	２１	一同
信仰告白	〃	
交読文	２１	司・会衆
主の祈り	５６４	一同
聖書	司会者	
〈マルコ福音書１章21節～28節〉		
祈祷	森川	
新聖歌	５０	一同
み言葉の伝え	中村	
〈評判〉		
讃美歌	５１３	一同
聖餐式 配餐者……	足立	
	井上	
祈祷者……	藤田	
	土屋	
讃美歌	４９４	一同
献金		
礼拝感謝	安延	
〃　〃	王	
報告	森川	
頌栄	５４１	一同
祝祷(派遣)	中村	
後奏	新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖研祈祷会６月１０日(水)１９:３０～
早天祈祷会月～土7時(除木曜・祭日)メーヤー館
臨時長老会本日礼拝後
聖書輪読会６月１４日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷６月１４日(日)10:25-10:30

【報告】

☆６月28日は千葉支区諸教会を覚えての「千葉支区の日」(第二献金があります)です。又、７月５日は支区伝道協議会が「伝道推進と教団機構改正」のテーマにより千葉教会で持たれます。参加希望者は次週6月14日まで中村牧師に申出下さい。

☆2020年4月19日より開始したマルコ福音書連続講解説教のCD希望者は牧師まで申出下さい。

【臨時長老会報告】

日時…５月３日　場所…銀杏ルーム
出席…中村牧師　森川　(書記)　井上
武田　土屋
議事…教会総会について---延期決定。但し長老任期に関しては改選期長老は総会開催までの間長老職を補うこととし、予算執行についても必要ある場合その措置をし、後日総会時にそれらの措置に関し信任を問うこととする。

【臨時長老会報告】

日時…５月１７日　場所…銀杏ルーム
出席…中村牧師　藤田　(書記)　井上
武田　森川
議事…①教会総会日程について---６/７ 総会資料等点検　６/１４ 資料印刷等　６/２１ 総会
②教会学校再開の件　③聖餐式執行の件--県の緊急措置解除を条件として執行

○公告・教会総会開催について
日時…６月２１日
場所…東金教会第一会堂
○公告・東金教会学園理事・評議員会
日時…６月１６日(火)午後４時

【６月７日～６月１３日誕生者】

○6/10信行内　姉　○6/11佐藤　姉
○6/12椎名　兄　○6/13土屋　さん
※互いに主に繋がる枝です。祈り合わせて行きましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(5/31	13	27	40
聖研祈祷会(6/3	3	1	4
聖書輪読会(5/31	3	1	4
教会学校(5/31)	4	3	7

早天祈祷会			
日	男	女	計
6/1	3	1	4
6/2	2	1	3
6/3	3	1	4
6/5	2	1	3
6/6	2	2	4

主日礼拝献金(５/31)……５１,８９０円
教会学校献金(５/31)……４,１５１円

【今日のメッセージ】

題　〈評判〉
聖　書　マルコ福音書1:21～28
1・具体的な第一歩

2・権威に満ちて

3・神の言葉の力

【次週(６月１４日)礼拝式案内】

み言葉の伝え　〈さまよう人々〉
聖　書 マルコ福音書１：２９～３９
交　読　文 ２２
讃　美　歌 ２３番　２３９番
新　聖　歌 ４０番

【次週(６月１４日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え	… 中	村上
司式者	… 井	村谷
奏楽者	… 中	寺延
受付者	… 阿	川野
案内者	… 薬	波本
名札当番	… 安	村部
礼拝感謝祈祷	… 森	波
〃　〃	… 猪	
cs お話し	… 戸	
会堂清掃者	… 藤	
〃　〃	… 中	
花係	… 岡	
看板書き	… 戸	

【聖書から】

彼らは漁師だった。イエスは、「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われた。

マルコによる福音書一章一七、一八節

人間は生きる意味を求める存在である。自分の生きる場所を見出し、其処で生活し、その喜びに留まりつつその生涯を終える…。それはまことに幸いな生涯というべきであろう。そこで人はそのような生涯を求め、その獲得に努めようとする。その手段が事業の成功であれ、学問といった知的探求による知的満足であれ、はたまたそれが家庭を中心とした人間としてのあたたかな交わりであれ、それ自体が目的でなく、その手段を通して己の生の満足を得ようとするのが人間だと思う。そしてこのような己の生の充足を得ようとする願望は老若男女を問わない。夫々の置かれた立場において人は己の生きる場所を探求する。だから老いた者はそのような願望をもはや持つことはない、というのは間違いだと思う。いつでも人は置かれた場で生きる意味を探求する者といってよい。そして神による人の召しはこの点から言うなら、神は人を召すことに依って求める者に生きる場を提供する御方と言うことが出来ると思う。そのようなことがペテロやアンデレの様に明確な召しの姿をとろうと、あるいは多くの場合の様に必ずしも明確でない場合であれ、神は私たち人間に生きる場を提供する方である。信仰はその面から言うなら神に対し、「私に生きる場を与えて下さい」と求める行為である。そして神がそのように応えて下さる方と信頼を寄せることを信仰という。そしてその際、私たちの願いに応えて下さる方であるとの信頼を寄せることだけであり、それ以外の条件｜人としてとか、能力が神の求める基準に達しているとか｜そのような条件は不要である。神は応えたもう！、たとえどんなさらなる者であれ必死に願う者を見捨てることはなさらない！、この信仰を持ち、神を見上げて生きようとするのが我らの神の民とされる者を神の民とされるのが我らの神である。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。